所属長　各位

令和９年度当初予算要求方法

行 政 経 営 部 長

1　予算編成方法

宇都宮市 Utsunomiya City

今後も賃金や物価の上昇が見込まれることから，政策効果の高い施策・事業への財源配分が図れるよう，全ての事業において，必要性や有効性，重要性，緊急性を見極めた上で，施策・事業の再構築「リデザイン＆リビルド」や，直近の決算・執行実績に基づく金額の精査を徹底し，**真に必要な経費を積み上げる「ゼロベース積み上げ方式」**により編成するものとし，**経費の区別なく全体の事業費において，部局ごとに「要求限度額」を設定**する。

「ゼロベース積み上げ方式」

全ての事業費が要求限度額対象となる。ただし，所管課が削減できない下記経費は対象外とする。

※【要求限度額の対象外】
職員給与費・公債費・債務負担行為設定事業（ソフト事業）

経常的経費

（事務費
施設維持修繕費
システム管理費
補助金
経常建設事業　など）

政策的・臨時的経費

（実施計画対象事業
扶助費
人件費
大型建設事業　など）

・消費的経費については，実施計画対象事業も含めて一般財源ベースで要求限度額を設定

・投資的経費については，事業費ベースで要求限度額を設定

※各部局における予算要求にあたっては，別で定める「予算編成事務要領」を参照の上，進めること。

2　予算要求の考え方

宇都宮市 Utsunomiya City

中期財政計画における「持続可能な財政構造」の実現に向けた取組を予算要求に反映させること。

⑴　財政運営の長期的な安定性の確保

ア　安定的な財源の確保

- 市税等の納付推進
- ふるさと納税の促進
- 新たな観光振興財源の検討
- 宇都宮ブランド戦略の推進
- 地元企業の産業振興及び企業の立地・定着の促進
- スポーツを活用したまちづくりの推進
- 観光振興・ＭＩＣＥの推進

イ　公有財産等の有効活用の推進

- ネーミングライツ事業の推進
- 新たな財源の確保

ウ　市債の計画的な活用

- 将来の公債費負担に配慮した，計画的な市債の活用
- 市債の借入手法の見直しによる，単年度公債費の負担軽減・平準化

エ　基金の涵養

- 決算剰余金の活用などによる基金の涵養

⑵　行政資源配分の最適化

ア　財源配分の最適化

- 施策・事業の再構築による，リデザイン＆リビルドの推進
- イベント開催内容や統廃合などによる，イベント事業の最適化
- 社会環境の変化に応じた市独自事業の最適化
- 各種補助事業の見直しによる，補助金の適正化

イ　消費的経費の伸びの抑制

- 介護予防・生活支援や健康づくり等の実施による，社会保障関係経費の伸びの抑制

ウ　ＤＸの推進による業務変革

- クラウド型業務基盤の導入などによる，スマートワークの実現
- 業務のデジタル変革
- ＡＩを活用した業務効率化の推進

⑶　行政経営基盤の強化

ア　効果的・効率的な事務執行

- 行政事務の集約等による業務効率化
- 適正な事務執行の確保
- 地方分権の推進（財源移譲）
- 効果的・安定的な出資法人経営の推進

イ　公共施設等マネジメントの強化

- 市民ニーズの変化を踏まえた施設の統廃合や集約等の推進
- ＰＰＰ活用等の推進
- 指定管理者制度の推進

ウ　計画行政システムの充実・強化

- 各種行政計画等と連携したＰＤＣＡサイクルの適正管理

エ　安定的なサービス提供体制の確立

- 職員の働きやすい環境づくり
- 課題に対応した機能的な組織体制，職員配置の最適化

2　予算要求の考え方

宇都宮市 Utsunomiya City

「財政運営の長期的な安定性の確保」に関する事項

- 市税をはじめとする徴収金については，**更なる納期内納付の推進など，収納率の向上につながる取組を検討・導出**すること。

- **企業版ふるさと納税やクラウドファンディングの導入可能性を積極的に検討**し，事業の財源として活用を図ること。

- 公有財産等については，所有する土地や施設の活用状況を踏まえ，改めて必要性を検証し，**売却や貸付を推進**するとともに，**ネーミングライツを導入**するなど，創意工夫しながら有効活用を図ること。

- 国・県支出金については，国・県の政策意図や予算編成の動向を十分に見極め，**新たな補助事業の活用など，積極的な導入**を図ること。

- 市債については，**普通交付税措置があるものを優先的に活用**すること。

2　予算要求の考え方

宇都宮市 Utsunomiya City

「行政資源配分の最適化」に関する事項

- 限りある行政資源を最大限効果的・効率的に活用するため，**あらゆる分野において事業の「選択と集中」を徹底した上で，施策・事業の再構築「リデザイン＆リビルド」に取り組み，その成果を反映**させること。

- 市独自事業については，**市民ニーズや社会環境の変化を的確に捉えるとともに，データ等の根拠に基づき効果などを見極め，見直しを検討**すること。

- 補助金等については，**全ての補助金等について改めて目的・手法・効果などを踏まえ，見直しを検討**すること。

- ＤＸの推進にあたっては，**事業の効率化や最適化**を図るとともに，**定量的な効果を明確**にすること。

- 会計年度任用職員については，**上記取組を含め，業務内容を精査した上で業務や人員の集約化，任用形態（勤務時間・期間など）の見直しなどを検討し，真に必要となる人数を精査**すること。

2　予算要求の考え方

宇都宮市 Utsunomiya City

「行政経営基盤の強化」に関する事項

- 公共施設等のマネジメントにおいては，引き続きＰＰＰ手法などの民間活力の活用を図るとともに，**「第２次宇都宮市公共施設等総合管理計画」を踏まえ，将来的な施設のあり方も見据えながら，施設の有効活用や集約化・統廃合などによる，トータルコストの縮減・平準化を検討**すること。

- 人件費については，「令和９年度組織・定員の方針」を踏まえ，重要施策や新規事業への対応を図るとともに，会計年度任用職員を含め，**業務の精査や効率化による定員の最適化を図る**こと。

- 出資法人等への補助金については，経営基盤の強化に向けた経営改革の取組をより一層推進するとともに，**本市の予算編成方針を踏まえ，事業内容を見直した上で，真に必要な人員を精査**すること。また，**事業の必要性などを見極め，補助対象事業費を精査**すること。

3　予算要求の留意点

- 「第６次総合計画後期基本計画」の最終年度を迎えることから，着実に目標達成に取り組むとともに，実施計画対象事業については，**調整の考え方を踏まえ，課題などを解消し，事業内容を更にブラッシュアップ**するとともに，**根拠データなどを精緻に検証**し，当該事業が税財源の増加や定住・交流人口の増加に資するなど，**将来にわたる投資効果を明確**にすること。

- 中期財政計画で推計した事業（扶助費，繰出金など）については，**中期財政計画と整合を図る**とともに，**より一層の経費の抑制を図る**こと。

- 国の各省庁や県が示す令和９年度予算の概算要求などの内容を注視し，情報収集に努め，迅速かつ適切な対応を図ること。

- 部局横断的な行政課題への対応に当たっては，関係する部局それぞれに相乗効果が発揮されるよう，部局間の連携を十分に図ること。